

(1) 早期発見・早期支援の重要性

- ・早期発見，早期支援の概念は浸透しているが，「早期発見して専門機関につなげる」ことまでが強く目指されており，その後の「保育現場での早期支援」に対するさらなる意識化，実践の蓄積と活用が望まれる

(2) 特別支援教育推進のための人的体制の整備の重要性

(3) 教員等の資質向上の必要性

- ・限られた資源の中で力を尽くしている現場も多いが，連鎖する課題への対応がより困難になっている
 - 睡眠，デバイス依存，虐待 等 … 研修の受講，専門家と協働しながらの実践の蓄積で対応する（しかないか）
- ・巡回等の相談業務を担当する人員（の養成）と配置が強く望まれる
- ・**[実践例]** 特定の相談員が定期的に（2，3か月に1回程度）特定の園に赴き，相談業務を担当する，3年ほど継続すると，園内での相談体制が構築され，相談員が不在であっても特別支援を要する事例への対応が（ある程度）可能になる
- ・個別の教育支援計画や指導計画については，既存の種々の計画（図1）の活用も視野に入れる
- ・保育者が継続して勤務することが可能となるような職場環境の整備とともに

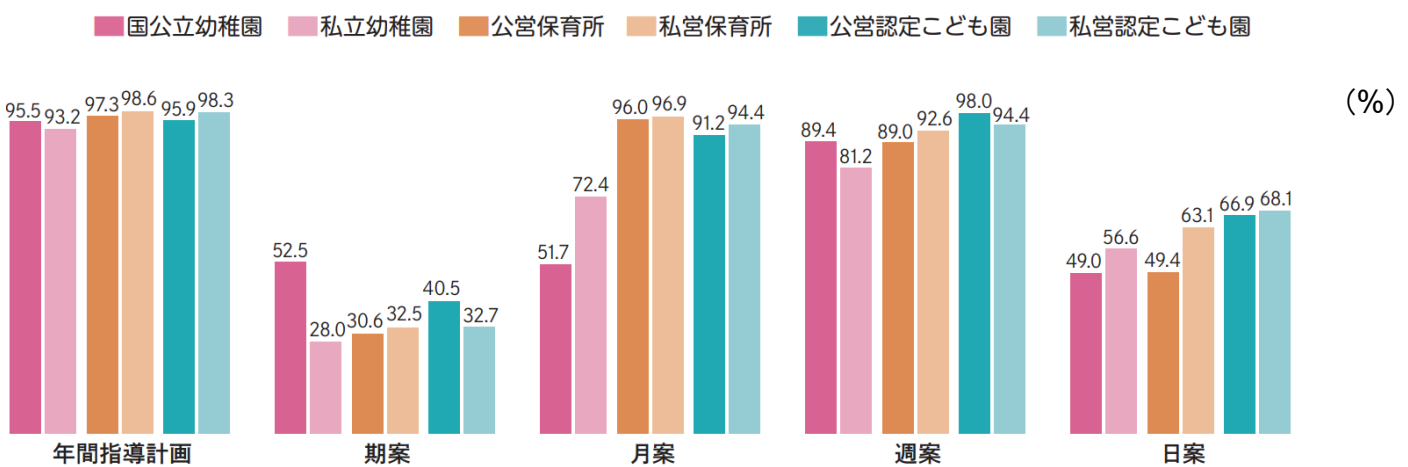


図1 指導計画の作成（2018年度）（ベネッセ教育総合研究所，2019）

(4) 小学校への円滑な接続の観点からの情報連携の重要性

- ・要録（年長児1年間の保育の過程や子どもの記録）の作成と送付は浸透している（図2）
 - 特別な支援については「特に配慮すべき事項」欄や「保育の展開と子どもの育ち」欄等に記載
- ・6割から8割の施設・機関が，要録の内容について小学校に補足説明する場を持つ（ベネッセ教育総合研究所，2013）
 - 自治体作成の引き継ぎシートや個別の教育支援計画，指導計画に基づく情報交換を行う地域も
- ・情報連携における現在の不十分な点の解明（と対応策の検討）を
 - 書かない（書けない？）保育者，（敢えて）読まない小学校教諭の背景
 - 組織的に対応しやすいこととしにくいこと，より組織的に対応しやすいことから

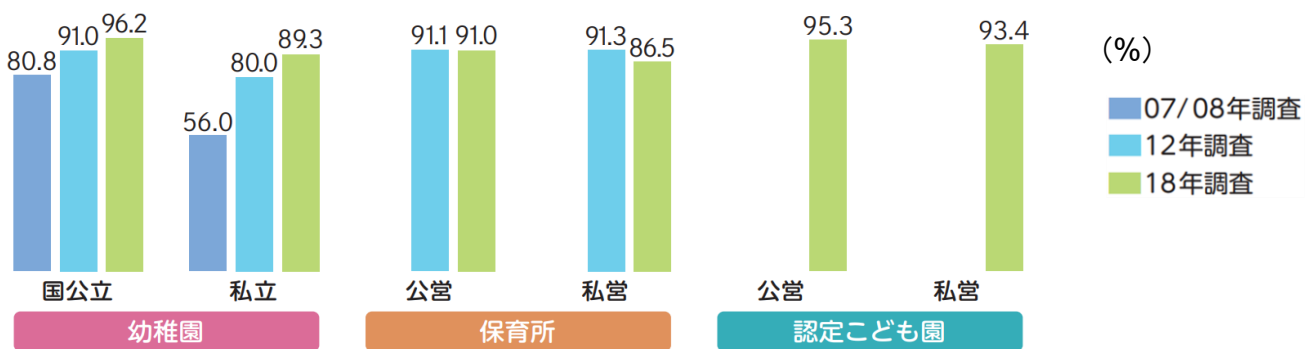


図2 小学校への要録の送付状況（経年比較）（ベネッセ教育総合研究所，2019）

ベネッセ教育総合研究所（2013）. 第2回幼児教育・保育についての基本調査報告書 <https://berd.benesse.jp/jisedai/research/detail1.php?id=4053>（2020年5月15日閲覧）

ベネッセ教育総合研究所（2019）. 第3回幼児教育・保育についての基本調査報告書 <https://berd.benesse.jp/jisedai/research/detail1.php?id=5444>（2020年5月15日閲覧）